調査票(案)

調査票の構成

	①実施状況調査票	②結果入力シート※1	
	令和6年度実施分	令和4年度実施分	令和5年度実施分 (受診率のみ)
胃	各1枚	各1枚	各1枚
肺			
大腸			
子宮頸			
乳			
その他			

※1 結果入力シートは、地域により対象人口率が異なるため、区部・多摩部・島しょ別となっている。

※2 チェックリスト調査は平成29年度から国のチェックリスト調査結果を再集計するため、都の調査票は廃止した²

令和6年度 東京都 がん検診精度管理評価事業 調査票

令和4年度から令和6年度までのがん検診の実施状況についての調査です。

区市町村名

総括者名	
担当部署	
TEL	
E-mail	

※ 提出書類は以下のとおりです。
提出前に内容をご確認の上、チェックを行い、御提出ください。

がん種	提出書類	チェック欄
【胃がん検診】	実施状況調査票（令和6年度）	
	結果入力シート（令和4年度・令和5年度）	
【肺がん検診】	実施状況調査票（令和6年度）	
	結果入力シート（令和4年度・令和5年度）	
【大腸がん検診】	実施状況調査票（令和6年度）	
	結果入力シート（令和4年度・令和5年度）	
【子宮頸がん検診】	実施状況調査票（令和6年度）	
	結果入力シート（令和4年度・令和5年度）	
【乳がん検診】	実施状況調査票（令和6年度）	
	結果入力シート（令和4年度・令和5年度）	
【その他のがん検診】※該当がある場合のみ提出	実施状況調査票（令和6年度）	

胃がん検診実施状況調査票（令和6年度検診実施分）

区市町村が実施するがん検診について、東京都では、国の指針に基づく検診の実施を推奨しています。

自治体名 所属 記入担当者

※がん検診として実施しているか否かに関わらず、公費による検査は回答の対象になります。

設問1

黄色のセルにチェックや記入をした場合は、指針外の検診に該当します。

胃部エックス線検査 ① 検診方法 ② 検診方式 ③ 対象年齢 ③-a 胃部エックス線検査の指針対象年齢や付している条件を教えてください ④ 受診間隔 ⑤ 受診機会は毎年ありますか。

胃内視鏡検査 ⑥ 検診方法 ⑦ 検診方式 ⑧ 対象年齢 ⑧-a 胃内視鏡検査の指針対象年齢や付している条件を教えてください ⑨ 受診間隔 ⑩ 受診機会は毎年ありますか。

設問2

胃部エックス線検査及び胃内視鏡検査以外の検査方法を実施している場合 には、下記以降も記入。

複数の検査方法（対象年齢により検査方法が違っても含む。）の検

① 検査方法 ② 対象年齢 ③ 受診間隔 ④ 設問2-①で選択した検査（以下、「リスク検査」とする。）を受診する場合の設問1-①（胃部エックス線検査）及び設問1-⑥（胃内視鏡検査）の受診機会について

診を実施している場合には、複数の欄に記入。

⑤ 検査方法 (いずれかを選択)	☐ ペプシノゲン検査及び ヘリコバクターピロリ抗体検査 ☐ ペプシノゲン検査のみ ☐ ヘリコバクターピロリ抗体検査のみ ☐ その他の検査方法 (検査名: _____)
⑥ 対象年齢 (例:「50歳以上」「50歳以上の偶数年齢」 「30、40、50、60歳」等)	
⑦ 受診間隔 (対象年齢毎に違う場合は、それぞれ記入)	
⑧ 設問2-⑤で選択した検査 (以下、「リスク検査」とす る。)を受診する場合の設問 1-①(胃部エックス線検査)及び 設問1-⑥(胃内視鏡検査)の受 診機会について	☐ リスク検査の結果に関わらず、指針に基づく胃がん検診を受診できる。 ☐ リスク検査で高リスクとなった場合は、同年度の指針に基づく胃がん検診は受診できない ☐ リスク検査を受診する場合、指針に基づく胃がん検診を受けることができない。 ☐ リスク検査の対象者は、指針に基づく胃がん検診の対象者に当てはまることはないため受診機会に影響はない。 ☐ リスク検査の他に指針に沿った検診(胃部X線・胃内視鏡検査)を実施していない。 ☐ その他 →具体的にお書きください(_____)

○指針で定める区市町村で実施するがん検診の内容(令和6年2月一部改正)

種類	検査項目	対象者	受診間隔
胃がん検診	問診に加え、胃部エックス線検査又は胃内視鏡検査のいずれか	50歳以上 ※当分の間、胃部エックス線検査については40歳以上に対し実施可	2年に1回 ※当分の間、胃部エックス線検査については年1回実施可
肺がん検診	質問(問診)、胸部エックス線検査及び喀痰細胞診	40歳以上 ※喀痰細胞診は50歳以上で喫煙指数600以上の者	年1回
大腸がん検診	問診及び便潜血検査	40歳以上	年1回
子宮頸がん検診(細胞診)	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診 必要に応じてコルポスコピー検査	20歳以上(女性)	2年に1回
子宮頸がん検診(HPV検査単独法)	問診、視診、HPV検査	30歳以上(女性)	5年に1回
乳がん検診	質問(問診)及び乳房エックス線検査(マンモグラフィ) ※単独での視診、触診は推奨しない	40歳以上(女性)	2年に1回

厚生労働省ホームページより引用(一部改変)

(案)

肺がん検診実施状況調査票（令和6年度検診実施分）

区市町村が実施するがん検診について、東京都では、国の指針に基づく検診の実施を推奨しています。

自治体名 〇 所属 〇 記入担当者

※がん検診として実施しているか否かに関わらず、公費による検査は回答の対象になります。

設問1

黄色のセルにチェックや記入をした場合は、指針外の検診に該当します。

胸部エックス線検査 ① 検診方法（胸部エックス線検査） ② 検診方式（実施している検診方式全てを選択） ③ 対象年齢（いずれかを選択） ③-a 胸部エックス線検査の指針外対象年齢や付している条件を教えてください ④ 受診間隔（いずれかを選択） ④-a 胸部エックス線検査の指針外受診間隔

喀痰細胞診 ⑤ 検診方法（喀痰細胞診） ⑥ 対象（いずれかを選択） ⑦ 喀痰細胞診の指針外対象者（例：「50歳以上で喫煙指数600以上で血痰のあった方」「医師が必要と認めた方」等）

設問2 胸部エックス線検査・喀痰細胞診以外の検査方法を実施している場合 には、下記以降も記入。

複数の検査方法（対象年齢により検査方法が異なる場合）には、複数の欄に記入

① 検査方法（いずれかを選択） ② 対象年齢（例：「50歳以上」「50歳以上の偶数年齢」「30、40、50歳」等） ③ 検査方法（いずれかを選択） ④ 対象年齢（例：「50歳以上」「50歳以上の偶数年齢」「30、40、50歳」等）

〇指針で定める区市町村で実施するがん検診の内容（令和6年2月一部改正）

Table with 4 columns: 種類, 検査項目, 対象者, 受診間隔. Rows include 胃がん検診, 肺がん検診, 大腸がん検診, 子宮頸がん検診(細胞診), 子宮頸がん検診(HPV検査単独法), 乳がん検診.

厚生労働省ホームページより引用（一部改変）

(案)

大腸がん検診実施状況調査票（令和6年度 検診実施分）

区市町村が実施するがん検診について、東京都では、国の指針に基づく検診の実施を推奨しています。

自治体名	○	記入 担当者	
所属	○		

※がん検診として実施しているか否かに関わらず、公費による検査は回答の対象になります。

設問1

黄色のセルにチェックや記入をした場合は、指針外の検診に該当します。

便潜血検査二日法	① 検診方法（便潜血検査二日法）	☐ 実施している →設問1-2へ	☐ 実施していない →設問2へ
	② 検診方式（実施している検診方式全てを選択）	☐ 集団検診	☐ 個別検診 →設問1-3へ
	③ 対象年齢（いずれかを選択）	☐ 40歳以上 ※ただし、年齢以外の条件も付している場合は右欄を選択。（「前年度未受診者」は除く。） →設問1-4へ	☐ 左記以外の年齢 →設問1-3-aへ
	③-a 便潜血検査二日法の指針外対象年齢や付している条件を教えてください（例：「35歳以上」「40歳以上の有症状者」等）		
	④ 受診間隔（いずれかを選択）	☐ 1年に1回 →設問2へ	☐ 左記以外の受診間隔 →設問1-4-aへ
	④-a 便潜血検査二日法の指針外受診間隔（例：「2年に1回」等）		

設問2 便潜血二日法以外の検査方法を実施している場合 には、以降も記入。

複数の検査方法（対象年齢により検査方法が異なる場合には複数の欄に記入も可）の検査を実施している場合には、複数の欄に記入も可

① 検査方法（いずれかを選択）	☐ 大腸内視鏡検査 ☐ その他の検査方法（検査名： ）
② 対象年齢 （例：「40歳以上」「40歳以上の偶数年齢」「30、40、50、60歳」等）	
③ 検査方法（いずれかを選択）	☐ 大腸内視鏡検査 ☐ その他の検査方法（検査名： ）
④ 対象年齢 （例：「40歳以上」「40歳以上の偶数年齢」「30、40、50、60歳」等）	

○指針で定める区市町村で実施するがん検診の内容（令和6年2月一部改正）

種類	検査項目	対象者	受診間隔
胃がん検診	問診に加え、胃部エックス線検査又は胃内視鏡検査のいずれか	50歳以上 ※当分の間、胃部エックス線検査については40歳以上に対し実施可	2年に1回 ※当分の間、胃部エックス線検査については年1回実施可
肺がん検診	質問（問診）、胸部エックス線検査及び喀痰細胞診	40歳以上 ※喀痰細胞診は50歳以上で喫煙指数600以上の者	年1回
大腸がん検診	問診及び便潜血検査	40歳以上	年1回
子宮頸がん検診（細胞診）	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診 必要に応じてコルポスコピー検査	20歳以上（女性）	2年に1回
子宮頸がん検診（HPV検査単独法）	問診、視診、HPV検査	30歳以上（女性）	5年に1回
乳がん検診	質問（問診）及び乳房エックス線検査（マンモグラフィ） ※単独での視診、触診は推奨しない	40歳以上（女性）	2年に1回

厚生労働省ホームページより引用（一部改変）

子宮頸がん検診実施状況調査票（令和6年度検診実施分）

区市町村が実施するがん検診について、東京都では、国の指針に基づく検診の実施を推奨しています。

自治体名	○	記入 担当者	
所属	○		

※がん検診として実施しているか否かに関わらず、公費による検査は回答の対象になります。

設問1 頸部細胞診

黄色のセルにチェックや記入をした場合は、指針外の検診に該当します。

① 検診方法（頸部細胞診）	☐ 実施している →設問1-②へ	☐ 実施していない →設問2へ
② 検診方式（実施している検診方式全てを選択）	☐ 集団検診	☐ 個別検診 →設問1-③へ
③ 対象年齢（いずれかを選択）	☐ 20歳以上 ※ただし、年齢以外の条件も付している場合は右欄を選択。（「前年度未受診者」は除く。） →設問1-④へ	☐ 左記以外の年齢
③-a 頸部細胞診の指針対象年齢や付している条件を教えてください（例：「18歳以上」、「20歳以上の有症状者」等）		→設問1-④へ
④ 受診間隔（いずれかを選択）	☐ 2年に1回 →設問1-⑤へ	☐ 1年に1回 →設問2へ
⑤ 受診機会は毎年ありますか。	☐ はい（前年度に受診歴が無ければ受診可能） →設問2へ	☐ いいえ（奇数年もしくは偶数年しか受診できない） →設問2へ

設問2

30歳以上の対象者に対して一律に実施する検査方法を右記から選んでください。	☐ 頸部細胞診 →設問4へ	☐ HPV検査単独法（医師採取） →設問3へ	その他（ ） →設問4へ
【回答基準】 （「その他」に該当） ・30歳以上の対象者は、細胞診とHPV検査どちらも選択できる。等			

設問3 HPV検査単独法（医師採取）

① 検体採取方法	☐ 液状化検体法 →設問3-②へ	☐ 左記以外の方法（ ） →設問3-②へ
② 検診方式（実施している検診方式全てを選択）	☐ 集団検診	☐ 個別検診 →設問3-③へ
③ 対象年齢（いずれかを選択）	☐ 30歳以上 ※ただし、年齢以外の条件も付している場合は右欄を選択。（「前年度未受診者」は除く。） →設問3-④へ	☐ 左記以外の年齢
③-a HPV検査単独法の指針対象年齢や付している条件を教えてください（例：「18歳以上」、「20歳以上の有症状者」等）		→設問3-④へ
④ 受診間隔	☐ 5歳刻みの節目年齢を設定 （※30歳以上の対象者の5歳刻みの年齢の住民が受診可能） ☐ 5年に1回 →設問3-⑤へ	☐ 左記以外の間隔
④-a 具体的な受診間隔を教えてください。（例：「3歳刻みの節目年齢を設定」等）		→設問3-⑤へ
⑤ HPV検査単独法による子宮頸がん検診の受診機会は毎年ありますか。	☐ はい →設問3-⑥へ	☐ いいえ →設問3-⑥へ
⑤ 【設問3-⑤ 回答基準】 ・直近の節目年齢でHPV検査単独法による子宮頸がん検診を受診しておらず、かつ、前年度に細胞診による子宮頸がん検診を受診していない場合、受診可能→「はい」 ・直近の節目年齢で受診しなかった場合、次の節目年齢まで受診できない→「いいえ」		
⑥ 追跡検査の受診機会は毎年ありますか。	☐ はい →設問3-⑦へ	☐ いいえ →設問3-⑦へ
⑦ 国指針の「3子宮頸がん検診（1）検診項目及び各検診項目における留意点④HPV検査単独法」に示された5つの要件を満たしていますか。	☐ はい →設問4へ	☐ いいえ →設問3-⑦-aへ

⑦-a 5つの要件のうち、満たせていないものに 全て ☑を入れてください。	☐ 指針に沿って実施するとともに、マニュアルを活用すること ☐ HPV検査単独法の導入時に、必要な者が国又は国が委託する業者を開催主体とする導入に向けた研修等を受講していること。 ☐ 受診者の情報と検診結果を保存するデータベース等を有し、個別の対象者の検診受診状況を長期に追跡することが可能であること。 ☐ HPV検査単独法を導入するに当たっては、新しい検診方法の導入について、都、地域医師会及び検診実施機関等関係者の理解と協力が得られていること。 ☐ HPV検査単独法を導入するに当たっては、新しい検診方法について、住民や対象者への普及啓発を行うこと。 →設問4へ
--	---

設問4 子宮体部の検査

子宮頸がん検診受診者に子宮体部の検査を実施していますか。	☐ 実施していない ☐ 問診等で体がんの有症状が確認できた場合に実施している ※1	☐ 左記以外の理由で実施している ※2
※1 子宮頸がん検診等の問診の結果、最近6月以内に、不正性器出血（一過性の少量の出血、閉経後出血等）、月経異常（過多月経、不規則月経等）及び褐色帯下のいずれかの症状を有していたことが判明した者に対して、第一選択として、十分な安全管理の下で多様な検査を実施できる医療機関への受診を勧奨している。		
※2 「左記以外の理由で実施している」場合は別シート「その他のがん検診実施状況調査票」に記入をお願いします。		

設問5 細胞診若しくはHPV検査単独法以外の検査方法（指針外検診）を実施している場合には、下記以降も記入ください。

記入の検査方法（対象年齢により検査方法が異なる場合も含む。）の検診を実施している場合には、複数の欄に

①検査方法（いずれかを選択）	☐ 細胞診・HPV検査併用法 ☐ 超音波検査 ☐ その他の検査方法（検査名：_____）
②対象年齢（例：「20歳以上」「20歳以上の偶数年齢」「30、40、50歳」等）	
③受診間隔（対象年齢毎に違う場合は、それぞれ記入）	
④ 設問5-①で選択した検査を受診する場合の設問1（頭部細胞診）及び設問3（HPV検査単独法）の受診機会について	☐ 設問5-①の検査の結果に関わらず、指針に基づく子宮頸がん検診を受診できる。 ☐ 設問5-①の検査で陽性となった場合は、同年度の指針に基づく子宮頸がん検診は受診できない。 ☐ 設問5-①の検査の対象者は、指針に基づく子宮頸がん検診の対象者に当てはまることはないため受診機会に影響はない。 ☐ 設問5-①の検査を受診する場合、指針に基づく子宮頸がん検診は受診できない。 ☐ その他 →具体的に書きください（_____）
⑤検査方法（いずれかを選択）	☐ 細胞診・HPV検査併用法 ☐ 超音波検査 ☐ その他の検査方法（検査名：_____）
⑥対象年齢（例：「20歳以上」「20歳以上の偶数年齢」「30、40、50歳」等）	
⑦受診間隔（対象年齢毎に違う場合は、それぞれ記入）	
⑧ 設問5-⑤で選択した検査を受診する場合の設問1（頭部細胞診）及び設問3（HPV検査単独法）の受診機会について	☐ 設問5-⑤の検査の結果に関わらず、指針に基づく子宮頸がん検診を受診できる。 ☐ 設問5-⑤の検査を受診する場合、指針に基づく子宮頸がん検診は受診できない。 ☐ 設問5-⑤の検査の対象者は、指針に基づく子宮頸がん検診の対象者に当てはまることはないため受診機会に影響はない。 ☐ 設問5-⑤の検査を受診する場合、指針に基づく子宮頸がん検診は受診できない。 ☐ その他 →具体的に書きください（_____）

○指針で定める区市町村で実施するがん検診の内容（令和6年2月一部改正）			
種類	検査項目	対象者	受診間隔
胃がん検診	問診に加え、胃部エックス線検査又は胃内視鏡検査のいずれか	50歳以上 ※当分の間、胃部エックス線検査については40歳以上に対し実施可	2年に1回 ※当分の間、胃部エックス線検査については年1回実施可
肺がん検診	質問（問診）、胸部エックス線検査及び喀痰細胞診	40歳以上 ※喀痰細胞診は50歳以上で喫煙指数600以上の者	年1回
大腸がん検診	問診及び便潜血検査	40歳以上	年1回
子宮頸がん検診（細胞診）	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診 必要に応じてコルボスコープ検査	20歳以上（女性）	2年に1回
子宮頸がん検診（HPV検査単独法）	問診、視診、HPV検査	30歳以上（女性）	5年に1回
乳がん検診	質問（問診）及び乳房エックス線検査（マンモグラフィ） ※単独での視診、触診は推奨しない	40歳以上（女性）	2年に1回

厚生労働省ホームページより引用（一部改変）

(案)

乳がん検診実施状況調査票（令和6年度検診実施分）

区市町村が実施するがん検診について、東京都では、国の指針に基づく検診の実施を推奨しています。

自治体名	○	記入 担当者	
所属	○		

※がん検診として実施しているか否かに関わらず、公費による検査は回答の対象になります。

設問1

黄のセルにチェックや記入をした場合は、**指針外**の検診に該当します。

マンモグラフィ	① 検診方法（マンモグラフィ）	☐ 実施している →設問1-2へ	☐ 実施していない →設問2へ
	② マンモグラフィに視触診を併用していますか。	☐ 併用している	☐ 併用していない →設問1-3へ
	③ 検診方式（実施している検診方式 全て を選択）	☐ 集団検診	☐ 個別検診 →設問1-4へ
	④ 対象年齢（いずれかを選択）	☐ 40歳以上 ※ただし、年齢以外の条件も付している場合は右欄を選択。（「前年度未受診者」は除く。） →設問1-5へ	☐ 左記以外の年齢 →設問1-4-aへ
	④-aマンモグラフィ検査の指針外対象年齢や付している条件を教えてください（例：「35歳以上」「40歳以上の有症状者」等）	→設問1-5へ	
	⑤ 受診間隔（いずれかを選択）	☐ 2年に1回 →設問1-6へ	☐ 1年に1回 →設問2へ
⑥ 受診機会は毎年ありますか。	☐ はい（前年度に受診歴が無ければ受診可能） →設問2へ	☐ いいえ（奇数年もしくは偶数年しか受診できない） →設問2へ	

設問2

マンモグラフィ以外の検査方法を実施している場合には、下記以降も記入。

複数の検査方法を実施している場合には、対象年齢により検査方法が異なる場合も各々の検査方法を記入

① 検査方法（いずれかを選択）	☐ 視触診のみ	☐ 超音波検査
	☐ その他の検査方法（検査名：_____）	
② 対象年齢（例：「40歳以上」「40歳以上の偶数年齢」「30、40、50歳」等）		
③ 受診間隔（対象年齢毎に違う場合は、それぞれ記入）		
④ 設問2-①で選択した検査結果によって、マンモグラフィ対象者を決めていますか。 例：視触診で異常があった場合のみマンモグラフィを実施する	☐ はい	☐ いいえ
⑤ 検査方法（いずれかを選択）	☐ 視触診のみ	☐ 超音波検査
	☐ その他の検査方法（検査名：_____）	
⑥ 対象年齢（例：「40歳以上」「40歳以上の偶数年齢」「30、40、50歳」等）		
⑦ 受診間隔（対象年齢毎に違う場合は、それぞれ記入）		
⑧ 設問2-⑤で選択した検査結果によって、マンモグラフィ対象者を決めていますか。 例：視触診で異常があった場合のみマンモグラフィを実施する	☐ はい	☐ いいえ

○指針で定める区市町村で実施するがん検診の内容（令和6年2月一部改正）

種類	検査項目	対象者	受診間隔
胃がん検診	問診に加え、胃部エックス線検査又は胃内視鏡検査のいずれか	50歳以上 ※当分の間、胃部エックス線検査については40歳以上に対し実施可	2年に1回 ※当分の間、胃部エックス線検査については年1回実施可
肺がん検診	質問（問診）、胸部エックス線検査及び喀痰細胞診	40歳以上 ※喀痰細胞診は50歳以上で喫煙指数600以上の者	年1回
大腸がん検診	問診及び便潜血検査	40歳以上	年1回
子宮頸がん検診（細胞診）	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診 必要に応じてコルポスコピー検査	20歳以上（女性）	2年に1回
子宮頸がん検診（HPV検査単独法）	問診、視診、HPV検査	30歳以上（女性）	5年に1回
乳がん検診	質問（問診）及び乳房エックス線検査（マンモグラフィ） ※単独での視診、触診は推奨しない	40歳以上（女性）	2年に1回

厚生労働省ホームページより引用（一部改変）

(案)

その他のがん検診実施状況調査票（令和6年度 検診実施分）

区市町村が実施するがん検診について、東京都では、国の指針に基づく検診の実施を推奨しています。5がん（胃・肺・大腸・子宮頸・乳）以外のがん検診は推奨されていません。

自治体名 〇 所属 〇 記入担当者

※がん検診として実施しているか否かに関わらず、公費による検査は回答の対象になります。

① 検査対象 (いづれかを選択) ② 検査方法 (いづれかを選択) ③ 対象年齢 ④ 検査対象 (いづれかを選択) ⑤ 検査方法 (いづれかを選択) ⑥ 対象年齢 ⑦ 検査対象 (いづれかを選択) ⑧ 検査方法 (いづれかを選択) ⑨ 対象年齢

- ※ 以下の場合に行った子宮体部の検査は指針外検診には該当しませんので、本箇所では回答する必要はありません。
「子宮頸がん検診実施状況調査票 設問4」にご回答ください。
・子宮頸がん検診等の問診の結果、最近6月以内に、不正性器出血（一過性の少量の出血、閉経後出血等）、月経異常（過多月経、不規則月経等）及び褐色帯下のいずれかの症状を有していたことが判明した場合

Table with 4 columns: 種類, 検査項目, 対象者, 受診間隔. Rows include 胃がん検診, 肺がん検診, 大腸がん検診, 子宮頸がん検診 (細胞診), 子宮頸がん検診 (HPV検査単独法), 乳がん検診.

厚生労働省ホームページより引用（一部改変）

令和5年度胃がん検診対象者

資料2-2④

区市町村名

区部対象人口率

52.2%

胃がん検診の対象者50歳以上のデータが国の指針に基づくがん検診のデータとなります。
 区市町村が実施するがん検診について、東京都では、国の指針に基づく検診の実施を推奨しています。
 太枠内は、本年度回答した令和5年度地域保健・健康増進事業報告の内容をコピー&ペーストしてください。

		住基台帳人口(令和5年度)	対象人口率に基づく対象者数
		胃がん	胃がん
全住民 ― 男	40～44歳		0
	45～49歳		0
	50～54歳		0
	55～59歳		0
	60～64歳		0
	65～69歳		0
	70～74歳		0
	75歳以上		0
	合計(50歳以上)	0	0
全住民 ― 女	40～44歳		0
	45～49歳		0
	50～54歳		0
	55～59歳		0
	60～64歳		0
	65～69歳		0
	70～74歳		0
	75歳以上		0
	合計(50歳以上)	0	0

令和4年度胃がん検診対象者

資料2-2④

区市町村名 0

区部対象人口率 52.2%

胃がん検診の対象者50歳以上のデータが国の指針に基づくがん検診のデータとなります。
 区市町村が実施するがん検診について、東京都では、国の指針に基づく検診の実施を推奨しています。
 太枠内は、[昨年度回答した都の令和5年度精度管理評価事業結果入力シート](#)の内容が入力されています。

		住基台帳人口(令和4年度)	対象人口率に基づく対象者数
		胃がん	胃がん
全住民 男	40～44歳		0
	45～49歳		0
	50～54歳		0
	55～59歳		0
	60～64歳		0
	65～69歳		0
	70～74歳		0
	75歳以上		0
	合計(50歳以上)	0	0
全住民 女	40～44歳		0
	45～49歳		0
	50～54歳		0
	55～59歳		0
	60～64歳		0
	65～69歳		0
	70～74歳		0
	75歳以上		0
	合計(50歳以上)	0	0

令和5年度肺がん検診対象者数

資料2-2⑤

区市町村名

区部対象人口率 55.1%

肺がん検診の対象者40歳以上(喀痰細胞診は50歳以上でかつ喫煙指数600以上)のデータが国の指針に基づくがん検診のデータとなります。
 区市町村が実施するがん検診について、東京都では、国の指針に基づく検診の実施を推奨しています。
 太枠内は、本年度回答した令和5年度地域保健・健康増進事業報告の内容をコピー&ペーストしてください。

		住基台帳人口(令和5年度)	対象人口率に基づく対象者数
		肺がん	肺がん
全住民 男	40～44歳		0
	45～49歳		0
	50～54歳		0
	55～59歳		0
	60～64歳		0
	65～69歳		0
	70～74歳		0
	75歳以上		0
	計		0
全住民 女	40～44歳		0
	45～49歳		0
	50～54歳		0
	55～59歳		0
	60～64歳		0
	65～69歳		0
	70～74歳		0
	75歳以上		0
	計		0

令和4年度肺がん検診対象者数

資料2-2⑤

区市町村名

区部対象人口率

肺がん検診の対象者40歳以上(喀痰細胞診は50歳以上でかつ喫煙指数600以上)のデータが国の指針に基づくがん検診のデータとなります。
 区市町村が実施するがん検診について、東京都では、国の指針に基づく検診の実施を推奨しています。
 太枠内は、昨年度回答した都の令和5年度精度管理評価事業結果入力シートの内容が入力されています。

		住基台帳人口(令和4年度)	対象人口率に基づく対象者数
		肺がん	肺がん
全住民、男	40～44歳		0
	45～49歳		0
	50～54歳		0
	55～59歳		0
	60～64歳		0
	65～69歳		0
	70～74歳		0
	75歳以上		0
	計		0
全住民、女	40～44歳		0
	45～49歳		0
	50～54歳		0
	55～59歳		0
	60～64歳		0
	65～69歳		0
	70～74歳		0
	75歳以上		0
	計		0

令和5年度大腸がん検診対象者数

資料2-2⑥

区市町村名

区部対象人口率 55.3%

大腸がん検診の対象者40歳以上のデータが国の指針に基づくがん検診のデータとなります。
 区市町村が実施するがん検診について、東京都では、国の指針に基づく検診の実施を推奨しています。
 太枠内は、本年度回答した令和5年度地域保健・健康増進事業報告の内容をコピー&ペーストしてください。

		住基台帳人口(令和5年度)	対象人口率に基づく対象者数
全住民 ― 男	40～44歳		0
	45～49歳		0
	50～54歳		0
	55～59歳		0
	60～64歳		0
	65～69歳		0
	70～74歳		0
	75歳以上		0
	合計		0
全住民 ― 女	40～44歳		0
	45～49歳		0
	50～54歳		0
	55～59歳		0
	60～64歳		0
	65～69歳		0
	70～74歳		0
	75歳以上		0
	合計		0

大腸がん検診結果入力シート(令和5年度実施分)

資料2-2⑥

区市町村名 0

大腸がん検診の対象者40歳以上のデータが国の指針に基づくがん検診のデータとなります。
 区市町村が実施するがん検診について、東京都では、国の指針に基づく検診の実施を推奨しています。
 太枠内は、本年度回答した令和5年度地域保健・健康増進事業報告の内容をコピー&ペーストしてください。

	検診回数	住基台帳人口(令和5年度)	対象人口率に基づく対象者	住基台帳人口(令和5年度)	対象人口率に基づく対象者	受診者数(令和5年度中)			
						集団検診		個別検診	
						男	女	男	女
40～44歳	初回								
	非初回								
	計	0	0	0	0				
45～49歳	初回								
	非初回								
	計	0	0	0	0				
50～54歳	初回								
	非初回								
	計	0	0	0	0				
55～59歳	初回								
	非初回								
	計	0	0	0	0				
60～64歳	初回								
	非初回								
	計	0	0	0	0				
65～69歳	初回								
	非初回								
	計	0	0	0	0				
70～74歳	初回								
	非初回								
	計	0	0	0	0				
75～79歳	初回								
	非初回								
	計	0	0	0	0				
80歳以上	初回								
	非初回								
	計								
合計	初回								
	非初回								
	計	0	0	0	0				

令和4年度大腸がん検診対象者数

資料2-2⑥

区市町村名

区部対象人口率 55.3%

大腸がん検診の対象者40歳以上のデータが国の指針に基づくがん検診のデータとなります。
 区市町村が実施するがん検診について、東京都では、国の指針に基づく検診の実施を推奨しています。
 太枠内は、昨年度回答した都の令和5年度精度管理評価事業結果入力シートの内容が入力されています。

		住基台帳人口(令和4年度)	対象人口率に基づく対象者数
全住民 男	40～44歳		0
	45～49歳		0
	50～54歳		0
	55～59歳		0
	60～64歳		0
	65～69歳		0
	70～74歳		0
	75歳以上		0
	合計		0
全住民 女	40～44歳		0
	45～49歳		0
	50～54歳		0
	55～59歳		0
	60～64歳		0
	65～69歳		0
	70～74歳		0
	75歳以上		0
	合計		0

大腸がん検診結果入力シート(令和4年度実施分)

区市町村名 0

資料2-2⑥

大腸がん検診の対象者40歳以上のデータが国の指針に基づくがん検診のデータとなります。
 区市町村が実施するがん検診について、東京都では、国の指針に基づく検診の実施を推奨しています。
 太枠内は、昨年度回答した都の令和5年度精度管理評価事業結果入力シートの内容が入力されています。

	検診回数	住基台帳人口(令和4年度)		対象人口率に基づく対象者		受診者数(令和4年度中)					
		男		女		集団検診		個別検診			
		男	女	男	女	男	女	男	女		
40～44歳	初回										
	非初回										
	計	0	0	0	0						
45～49歳	初回										
	非初回										
	計	0	0	0	0						
50～54歳	初回										
	非初回										
	計	0	0	0	0						
55～59歳	初回										
	非初回										
	計	0	0	0	0						
60～64歳	初回										
	非初回										
	計	0	0	0	0						
65～69歳	初回										
	非初回										
	計	0	0	0	0						
70～74歳	初回										
	非初回										
	計	0	0	0	0						
75～79歳	初回										
	非初回										
	計	0	0	0	0						
80歳以上	初回										
	非初回										
	計										
合計	初回										
	非初回										
	計	0	0	0	0						

令和5年度子宮頸がん検診対象者数

資料2-2⑦

区市町村名

区部対象人口率 56.7%

子宮頸がん検診の対象者20歳以上のデータが国の指針に基づくがん検診のデータとなります。
区市町村が実施するがん検診について、東京都では、国の指針に基づく検診の実施を推奨しています。
太枠内は、本年度回答した令和5年度地域保健・健康増進事業報告の内容をコピー&ペーストしてください。

		住基台帳人口(令和5年度)	対象人口率に基づく対象者数
全住民 女	20～24歳		0
	25～29歳		0
	30～34歳		0
	35～39歳		0
	40～44歳		0
	45～49歳		0
	50～54歳		0
	55～59歳		0
	60～64歳		0
	65～69歳		0
	70～74歳		0
	75歳以上		0
	合計		0

令和4年度子宮頸がん検診対象者数

区市町村名 0

区部対象人口率 56.7%

子宮頸がん検診の対象者20歳以上のデータが国の指針に基づくがん検診のデータとなります。
区市町村が実施するがん検診について、東京都では、国の指針に基づく検診の実施を推奨しています。
太枠内は、昨年度回答した都の令和5年度精度管理評価事業結果入力シートの内容が入力されています。

		住基台帳人口(令和4年度)	対象人口率に基づく対象者数
全住民 女	20～24歳		0
	25～29歳		0
	30～34歳		0
	35～39歳		0
	40～44歳		0
	45～49歳		0
	50～54歳		0
	55～59歳		0
	60～64歳		0
	65～69歳		0
	70～74歳		0
	75歳以上		0
	合計		0

子宮頸がん検診結果入力シート(令和5年度受診者)

資料2-2⑦

区市町村名 0

子宮頸がん検診の対象者20歳以上のデータが国の指針に基づくがん検診のデータとなります。
区市町村が実施するがん検診について、東京都では、国の指針に基づく検診の実施を推奨しています。
本市内は、本年度回答した令和5年度地域保健・健康増進事業報告の内容をコピーペーストしてください。

	検診回数	住基台帳人口(令和5年度)	対象人口率に基づく対象者数	令和4年度受診者数	受診者数(令和5年度中)		2年連続受診者数(令和5年度中)	
					集団検診	個別検診	集団検診	個別検診
20~24歳	初回			0				
	非初回			0				
	計	0	0	0				
25~29歳	初回			0				
	非初回			0				
	計	0	0	0				
30~34歳	初回			0				
	非初回			0				
	計	0	0	0				
35~39歳	初回			0				
	非初回			0				
	計	0	0	0				
40~44歳	初回			0				
	非初回			0				
	計	0	0	0				
45~49歳	初回			0				
	非初回			0				
	計	0	0	0				
50~54歳	初回			0				
	非初回			0				
	計	0	0	0				
55~59歳	初回			0				
	非初回			0				
	計	0	0	0				
60~64歳	初回			0				
	非初回			0				
	計	0	0	0				
65~69歳	初回			0				
	非初回			0				
	計	0	0	0				
70~74歳	初回			0				
	非初回			0				
	計	0	0	0				
75~79歳	初回			0				
	非初回			0				
	計	0	0	0				
80歳以上	初回			0				
	非初回			0				
	計	0	0	0				
合計	初回			0				
	非初回			0				
	計	0	0	0				

令和3年度受診者数もご報告ください

子宮頸がん検診結果入力シート(令和3年度受診者)

区市町村名 0

子宮頸がん検診の対象者20歳以上のデータが国の指針に基づくがん検診のデータとなります。
区市町村が実施するがん検診について、東京都では、国の指針に基づく検診の実施を推奨しています。
本市内は、昨年度回答した令和5年度地域保健事業報告の内容が入力されています。

	検診回数	受診者数(令和3年度中)	
		集団検診	個別検診
20~24歳	初回		
	非初回		
	計		
25~29歳	初回		
	非初回		
	計		
30~34歳	初回		
	非初回		
	計		
35~39歳	初回		
	非初回		
	計		
40~44歳	初回		
	非初回		
	計		
45~49歳	初回		
	非初回		
	計		
50~54歳	初回		
	非初回		
	計		
55~59歳	初回		
	非初回		
	計		
60~64歳	初回		
	非初回		
	計		
65~69歳	初回		
	非初回		
	計		
70~74歳	初回		
	非初回		
	計		
75~79歳	初回		
	非初回		
	計		
80歳以上	初回		
	非初回		
	計		
合計	初回		
	非初回		
	計		

令和5年度乳がん検診対象者数

資料2-2⑧

区市町村名

区部対象人口率 59.5%

乳がん検診の対象者40歳以上のデータが国の指針に基づくがん検診のデータとなります。
 区市町村が実施するがん検診について、東京都では、国の指針に基づく検診の実施を推奨しています。
 太枠内は、本年度回答した令和5年度地域保健・健康増進事業報告の内容をコピー&ペーストしてください。

		住基台帳人口(令和5年度)	対象人口率に基づく対象者数
全住民 女	40～44歳		0
	45～49歳		0
	50～54歳		0
	55～59歳		0
	60～64歳		0
	65～69歳		0
	70～74歳		0
	75歳以上		0
	合計		0

令和4年度乳がん検診対象者数

区市町村名

区部対象人口率 59.5%

乳がん検診の対象者40歳以上のデータが国の指針に基づくがん検診のデータとなります。
 区市町村が実施するがん検診について、東京都では、国の指針に基づく検診の実施を推奨しています。
 太枠内は、昨年度回答した都の令和5年度精度管理評価事業結果入力シートの内容が入力されています。

		住基台帳人口(令和4年度)	対象人口率に基づく対象者数
全住民 女	40～44歳		0
	45～49歳		0
	50～54歳		0
	55～59歳		0
	60～64歳		0
	65～69歳		0
	70～74歳		0
	75歳以上		0
	合計		0